

ゆめちき通信

244号

トワイライトあっぱれキャンプ

9月20日現在
子ども会員 : 127人
正会員 : 40人
賛助会員 : 243人
27団体



しりたがり
おとな塾
トワイライトあっぱれキャンプ
キャリアスタートウィーク
忍者のここがイチオシ!

ゆまもと かずこの 知りたがりやトーク

朝晩がちょっぴり涼しくなってきましたが、まだまだ暑い日が続いています！世の中の的には、内閣改造やロシア・北問題、ジャニーズバッシングなど政治～芸能まで話題にことかかない今日この頃、みなさんいかがお過ごしですか？今回は、厳しい残暑でヒートアップした脳の熱を冷ますべく、この前、副業で体験した話を紹介してみようと思います。

昨年、お上から「高校の家庭科の授業において、『資産形成』の視点に触れるように！」とのお触れが出されました。裁縫や調理実習に加えて、株式や債券、投資信託など基本的な金融商品の特徴までを教えるとは、なんとという一方的な無理難題。そんなの社会の授業でやれや！と思いつつ、でもそこは宮仕え、どうしたものかと思案し、証券会社の方に「出張授業」をして頂くことに。

いつもの教室と違い、図書室でプロジェクター等を用いた外部講師による授業。初めのうちは緊張気味だった生徒たちですが、家計管理、投資について非常にわかりやすくフルカラーでつくられた資料と、ときおりクイズを織り交ぜながらの丁寧な説明で、「投資」に関する理解が進んだ模様。

生徒たちが一番驚いていたのは、「100万円を銀行に預けた場合1年間でどのくらい増えますか？」という問いに対する答え。4択だったのですが、100万円を普通預金に1年預けても10円、それが1000万円だとしても100円、1億円預けても、たった1000円しか利子につかないという現実に、超ビックリ！だった様子。そうよね、自分で銀行のお金を出し入れする機会がほとんどない上に、金利が今いくらかなんて、全く興味がないわけだから、そのリアクションは当然のなりゆき。



そして、もう一つ、大人でもなるほど、と思ったのが「投資」に対するイメージの話。実際、何らかの投資をしている場合は、資産が増える、将来の備えになる、勉強になるなど「投資」に対して良いイメージを持っている人の割合が多いのに対し、預貯金のみの方は、難しい、損をする、なんとなく怖いなどの悪いイメージを持っている割合が高いそう。まあ、想定内だけど、それは、これまでの教育のたまものよね。(笑)何事も、真面目にコツコツを美德としてきた日本人。家庭科でのお金に関する授業でも「無駄づかいしない」「だまされない」など、どちらかと言えば、消費者として失敗しないための学び。しかし、老後に必要と言われている2000万円、毎月5万円ずつ30年貯めても達成できません。しかも平均寿命はどんどん延びて、少子高齢化はますます加速、もしかして、2000万円でも足りんかも…ってことで、お上は個々人の資産形成に期待！高校でも「投資」について学ぶべし！ってことになり、今回の授業。

とは言え、「投資」にはリスクもあります。正しい情報を得て、賢く資金管理しながら自分の思い描く未来を目指してください。と締めくくられました。

Nextおとな塾

未来の呉市を見据えた投資

子どもの学びの環境づくり

～教育委員会のおしごと～

講師：伊藤賀世さん（呉市教育委員会教育部学校安全課課長）
河野靖弘さん（呉市教育委員会教育部学校安全課主査）

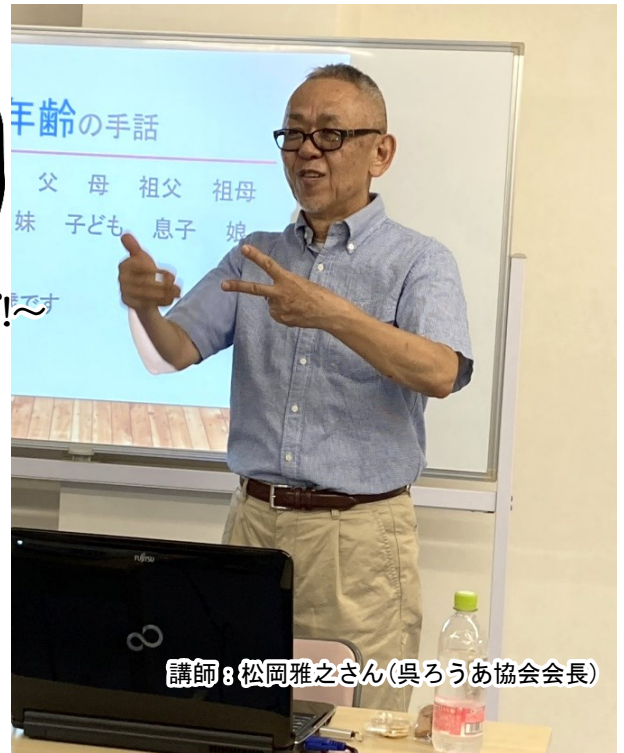
【日時】10月18日(水)19:30～
【場所】生涯学習センター406
【参加費】1200円
※事前にお申込みください。

手話入門

～多様性の時代、知って学んでブラッシュアップ!～

手話といえば、たくさんあって覚えきれない！難しい！というイメージが。しかし、実際は全く違っていました。例えば、「スマホ」を表現するには肩をすくめて小さく操作、「タブレット」なら同じ動作を背筋を伸ばして大きくします。まさにジェスチャーゲーム。「私の（自分を指さす）、名前は（胸の前でOKサインをして名札のように）、〇〇（指で空中に字を書くのでも通じる!）」と、これだけで自己紹介になります。30分少しの勉強で参加者全員が発表できました！「拍手」は手で音を鳴らすのではなく、手首を回してキラキラ星のように動かします。音はないのですが、それをみんなですっていると雰囲気や表情が明るくなるように感じました。

使うのは手の動きだけではありません。「ありがとう」や「ごめんなさい」などは特に、表情や仕草



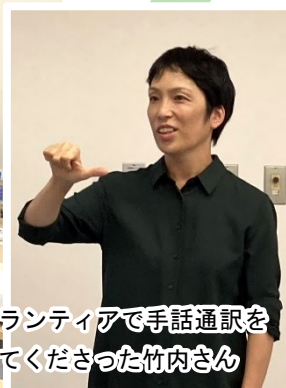
講師：松岡雅之さん(呉ろうあ協会会長)

も重要。「ありがとう」は笑顔で。「ごめんなさい」は眉を寄せ申し訳なさそうに。お辞儀の角度や、軽く謝るときは動作を小さくするなど、ニュアンスを変える工夫も見せて頂きました。驚いたのはその表情の豊かさ。表情筋を最大限に活用し、表現したい気持ちが言葉よりもよく伝わってきました。

そんな松岡さんですが、学生時代は進路選択に苦労したそう。大体の人は周りの人から影響を受けて職業を決めるけど、自分は聴覚に障害があるので親の仕事などでもできると思えることが限られてしまう、と二の足を踏んでいたそう。そこで、少しでも出会いの機会を増やすため、ろうの偉人の活躍を発信。障害で分け隔てない社会を目指す、呉市手話言語条例などの制定に尽力されました。

手話は難しいものではなく、出会いや会話のためのツール。他にはどんなものがあるか、勉強してみたくなりました！

(芥川愛花里)



ボランティアで手話通訳をしてくださった竹内さん





去年はお盆にしたキャンプ。YYY20周年だったので、呉に帰って来た人も参加しやすいようにと思ったのだが、逆に今活動している人たちが他県へ帰省。そこで今年は、秋のシルバーウィークにすることに。気候も良く、とても過ごしやすかった。

6月の下見から始め、会議を重ね、試行錯誤の末、たどりついた当日はアカデミースタッフが活躍。みんなを巻き込み、テーマ通り「あっぱれ」なキャンプだった。お泊まりに初チャレンジの家族や2回目で余裕を醸している参加者の様子、以前子ども会員だった大学生が友達を誘ってきてくれたのも嬉しかった。そして「キャンプをするけん、来て!」と言うと集まって力を貸してくれた歴代の高キャンメンバー。彼らがいなければ、ここまでのキャンプはできなかった。ファイヤー後にも懐かしい顔が集まったそう。いろんな出会いがある「YYYのキャンプ」はすごい場だと今さらながら思う。(久保)

今回、キャンプを企画することによってわかったことがあったんよ。テーマについてスタッフ皆でイメージして共有する時間をしっかり持つと、それにそった行動になるということ。今までもテーマについて話してはいたけど、時間をたっぷりとってなかったんよ。今回のテーマは「あっぱれ!!」。イメージして共有すると、あっぱれからの晩ごはん、あっぱれからのレクリエーション。ただの晩ごはん、レクリエーションではなくなった。「テーマについてスタッフ皆でイメージして共有する」これ超大事! (キャサリンこと上田)

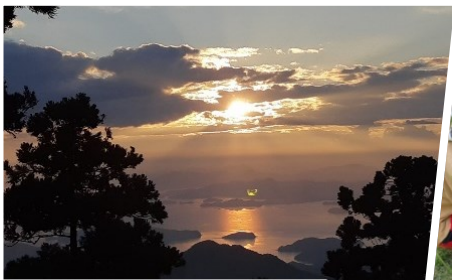


今回も本当にたくさんの人の力でキャンプができた。かかわった人、みんなに感謝！

チームに分かれてあっぱれ探しをするレクでは弘法寺と星降る展望台の2コースにしたいと言い張った。どちらも甲乙つけがたい瀬戸内の穏やかな景色が見渡せる絶景スポット。だから選択肢をつくりたかった。道中も山はいろいろなキノコ祭り、ヒガンバナのつぼみ。短時間で自然にある小さいものもいっぱい見つけて来ていた。

「日本一のあっぱれめし」は想像していた以上。80人分の夕食づくりはすごい。「富士山そば」は、そば30玉、「モーあまったれ」は牛肉4キロ。他にも豚肉、鶏肉4キロずつ、野菜も山ほど。小さい子もキャベツや玉ねぎを切り、大人も鉄板で豪快に調理。もうやる事がなくなった子どもたちが一緒に汗だくになって「だるまさんの1日」を遊んでいた姿に、今どきの子どももこんな顔するんじゃないかと、こっちまで心がワクワク。そしてこうせい君のいただきますの声掛けは「あっぱれ」な大声。

「あっぱれめし」をたらふく食べた後、薄暗がりにはファイヤー場へ。レクの発表をして、いよいよ火の



精から聖火リレー、そして点火。火の粉をまき散らし燃え上がる炎の中のダンス、ダンス、ダンス。ファイヤーキーパー、圧巻の平らな円盤?!ハイズカズンバ?!次々に現れる YYY 高キャン歴代メンバーがファイヤーを盛り上げる。子どもはもちろん大勢の大人が楽しそうに踊り回る姿は、“後世に残したいあっぱれ”に認定したい。

今回のキャンプは盛り沢山だったが、特に私が嬉しかったのが、自由参加で行った星降る展望台での満天の星と翌朝5時57分の日の出ツアー。小学生や大学生もついてきて一緒に見れた。「天の川を初めて見た」という声に心でガッツポーズ!朱色に染まる雲の隙間から表れたお日様と島々が織りなす景色!とにかくこれが見せたかった!

実行委員として説明や声掛けもうまくできないことがたくさんだが、来年もキャンプをしたい!みんな、力を貸してほしい。(実行委員長 やっしー)



参加者&サポーターの声



友人の紹介で参加しました。キャンプをすることが初めてで、非日常的な2日間を味わうことができました。夕食作りでは、参加者のお父さんにアドバイスを頂きながら鶏肉を焼きました。鉄板が熱く汗をたくさんかきましたが、参加者の「美味しい」という声や、早く売り切れるほど人気な様子を見てとても嬉しかったです。男の子と一緒にナタを握り、薪割りをしました。薪が割れた時の、男の子の笑顔が印象に残っています。

炎を囲んでのキャンプファイヤーダンスでは、自分を忘れるほど大声で笑いながら踊りまわりました。はじめ君が「一緒に踊ろう」と手を引っ張ってくれたことが嬉しかったです。また、炎で焼いたマッシュマロの美味しさが忘れられません。



久々のYYYのイベントということで緊張してましたが、参加してみればあっという間でした！特にキャンプファイヤーでは自分が想像していたものより楽しく一心不乱で踊っちゃってました。普段はあまりはっちゃけたりできない自分ですが、この時ばかりは少年の心を取り戻せた気がします！ちびっ子達ともたくさん遊べて夏休み最後に最高の思い出になりました！

(大学生 あっきー)

初参加キャンプ、お世話になりました。あっぱれ！子供達にも母にも最高の経験をさせてもらって感謝感謝。スタッフの皆さんに心からありがとうー！です♡

みんなの輪に入れないタイプの長男が、「大学生お兄さんと友達になったから来年も行く！」と言っています。今回母が勝手に予約して、キャンプ行きたくない！って言っていたのが嘘のようです。笑。本当に良い機会をありがとうございます。

(宍戸 母)



星降る展望台で眺めた、星空と日の出の絶景は感動しました。

私は小児の領域に興味を持ち、今大学でリハビリについて学んでいます。今回のキャンプを通して、子ども達の「1人でできた！」という喜ぶ姿を引き出せるような、リハビリがしたいと改めて感じました。来年もぜひ参加したいです。貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。

(大学生 岡本悠翔)



初めてのキャンプでした。最初は他の参加者と上手く連携できるか、足でまといににならないか、心から楽しめるか不安でした。いざキャンプが始まってレクや晩御飯・朝食の準備、ファイヤーなどで思うようにいかないことや反省することも多々ありました。けれどその中でも初めて気づく発見、新たな価値観や豊かな景色。このトワイライト★キャンプでしか得られない出会いや経験がたくさんありました。最初は不安しかなかった私に優しく気さくに話しかけて下さったり、一緒に遊んで踊って全てをさらけ出し、参加者80人全員が家族のように一体感を感じたあの時は私の中で何にも変えられない時間となりました。綺麗な青空、星が降り注ぐ夜空や豊かな自然に囲まれながらのキャンプはとてもあっぱれ。周りの助けがあったおかげで心から楽しむことができました。来年も新たな参加者を加えてできたら嬉しいです。

(大学生 宇吹まなか)

キャリアスタートウィーク

コロナが五類になって初の夏休み。8月の終わり、今年も青い幟がたくさん場所ではためいていました。体操服姿で取り組む中学生がたまたま友だちのお兄ちゃんだったらしく、うちの小学生が「あれは何をしよう？」と興味を持ったので、職業体験だと説明。来年中学校にあがる長男は「えーそんなの、たいがいじゃん！」と言っていました(笑) 果たして当の中2はどうだったのでしょうか？今年も聞いてみました。(まゆまゆ)

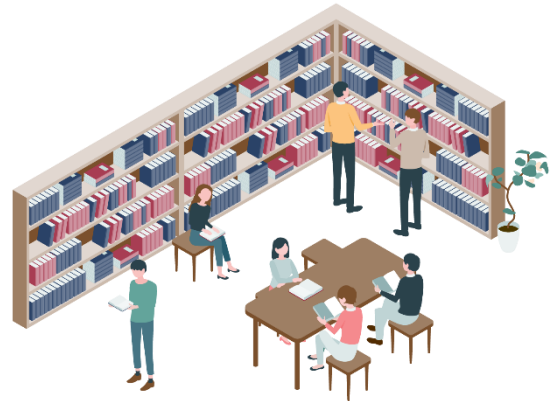
図書館に行きました!

私はキャリアスタートウィークの3日間、図書館に行きました。

1日目は貸出処理、返却処理などのやり方を教わり、実際にしたりしました。2日目は「ももちゃんのポケットの会」に参加し、保育園とまちづくりセンターに行って、保育園児、3歳児未満に読み聞かせをしました。3日目は閉館日でしたが、本棚の整理や新しい本の登録、本のポップを作り交流などをしました。

1日目は「あいさつを元気よくする」という目標で頑張りました。初めてカウンターに立ったのでとても緊張しましたが、元気よくあいさつをすることを意識しながらカウンター対応をしました。利用者の皆さんが優しく接してくれたので、やりやすかったです。

2日目は「わかりやすいようにはっきりと読み聞かせをする」という目標で頑張りました。初めて小さい子達に読み聞かせをするので、どんなふうに読めば楽しんでくれるのか、考えながら読みました。2回読んで、両方ともとても緊張して読むのが早く



なりそうな時があったけど、意識してゆっくりと読むようにしました。2回とも喜んでくれたのでとても嬉しかったです。

3日目は「最後の日なので集中してやる」という目標で頑張りました。新しい本の登録は初めてやる作業が沢山あって、覚えるのが難しかったです。でも、担当の方が優しく教えてくれたので、やりやすかったです。また、同じ職場の子と自分たちが作ったポップを見て交流もできたので、楽しい活動が出来ました。

この3日間で挨拶の大切さや、人との関わりが大切なことなどが分かりました。これから、このキャリアスタートウィークの3日間で学んだことを活かしていきたいです。(谷美咲)

海上自衛隊に行きました!

僕は8月22日~24日の3日間で海上自衛隊へ職場体験に行きました。そこで普段聞くことの出来ない自衛隊の話聞かせてもらいました。例えば、急な海外出張が入りその間は家族との連絡やインターネットなどが出来なくなることや、気温の高い国での活動など僕では辛くて耐えられないと思いました。また潜水艦に乗る体験もさせてもらい、操縦室にも入りました。一人の生徒が運転席に座り操縦桿を握らせてもらおうと、潜水艦が傾きました。今回は体験で少しずつ傾かせていったのでバランスが取れたけれど、実際はとてもバランスを取るのが難



しいそうです。船の甲板からはしごを使って下に降りる際に足を滑らせて骨折をした人もいるなど怖い話も聞きました。

今回の職場体験で海上自衛隊の人達は国の為に頑張っていてすごいなと思いました。

(高田涉伍)



忍者のここがイチオシ!

秋だよ!忍者の季節だ!
風呂敷1枚で忍者に早変わり!
なすびたちと一緒にこれまでたくさん子ども忍者・おとな忍者が
毎年修行に励んできた!何がそんなに楽しい?まだ参加を迷って
いる君のために聞いてみた!



最後の大人対子供の対決。
自分の足を守りながら大人に
向かって行くのが難しいけど
楽しい。今年も早くやりたい!
(渡辺脩平)

巻物がどこにあるのかを探
するのがすごく楽しい(小川幸晴)

普段から見ている景色が修行場になり、冒険の場になり、街中のあらゆる物が今までの認識から外れて忍者にとって必要な物になる。

最初は普通の子供達が身も心も忍者になっていき、忍者としての振る舞いをしはじめる。

一見単純なやり取りの中に子供達を引き込む何かがあるのだと思うのだが、まさに忍術のように子供達を夢中にさせる。

ミッションをやり終えた後の子供達の満足そうな顔がうれしくもあり、うらやましくもある。

私も子供の頃に参加したかった。
(おとな/武内将平)



たから物 見つけた時の
たっせいかん(平賀やよい)

「なすびがオモロい」
(宮崎げんた/こうた)

予算オーバーの事業だけどスゴくいいので今年もやります!と言われるだけあって、ホントに楽しいです!

参加するまでは、忍者?風呂敷?集って忍者の真似事かなと思っていましたが、子どもは違う学校・学年の子どもたちと触れ合い、どうするか考え悩む。大人は遊びとは?と子どもとの接し方を考えさせられる。楽しさと学びの両方がある素敵なイベントです! ✨
(阿部典子)



宝探しが楽しい!あと、石とかいろんな物を使って形を作ったりするのが楽しかった!
巻物は今も大事にしています。(尾末樹)

チャンバラがおもしろい (白井さつき)

大人対子どもの旗取り合戦のチャンバラがめっちゃ楽しい!! (阿部隼士)

みんなで協力して、ミッションをクリアしていくのが楽しい

知り合っていない友達とも仲良くできるし、楽しい
(木下郷花)

忍者は沢山の知らない人と仲良くなって、沢山の冒険が出来て、色々な人と話すことができるのが楽しい。

何より忍者の気分になりきれるのが楽しいです。
(武内匠)

通っている小学校がバラバラで序盤はメンバーとなかなかうまく話せないけど、時間が進むなかでみんな協力して最後には仲良くなっているところ!!!
(おとな/和馬)

大人では思いつかない場所に隠してあったりするので、見ただけで楽しいです。
(おとな/小川春恵)

子ども忍者の仲間として参加させてもらおうと [たった数時間のうちに変化していく子どもたちの姿] を目の前で見届けることができるのが最大の魅力!

…なのですが、私にとっての忍者の時間は、午前中のワークを含めて、アフタフバーバンの方々や YYY のスタッフの皆さんと [新しい自分に出会えるイベント] というのだと思います。年々、体力勝負になりつつありますが、今年もよろしくお願いします!
(おとな/織田真弓)



■発行日:2023年9月25日(毎月1回発行) ■発行責任者:米本美千恵
■発行元:特定非営利活動法人 呉こどもNPOセンターYYY 〒737-0051 呉市中央3丁目11-12PANビル3F
■連絡:0823-24-5646 ■WEB:http://kure-yyy.org